

内令第一號

特設根據地隊及特別海軍根據地隊占領地管理等ノ件左ノ通定メラル

昭和十七年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條 占領地（海軍ノ主擔任區域以下同シ）ニ在ル特設根據地隊又ハ特別海軍根據地隊ハ所屬長

官ノ監督ヲ受ケ共ノ占領地ヲ管理ス

第二條 特設根據地隊司令官又ハ特別海軍根據地隊司令官ハ所屬長官ノ監督ヲ受ケ占領地ノ政務ヲ管理ス

内令第二號

海軍民政部規程左ノ通定ム

昭和十七年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍民政部規程

第一條 占領地ニ必要ニ應ジ海軍民政部ヲ置ク

内令

0047

海軍民政部ノ所屬、名稱、所在地及管轄區域ハ別表ニ依ル

第二條 海軍民政部ハ占領地ニ於ケル民政ヲ掌ル

第三條 海軍民政部ニ必要ニ應ジ政務課、經濟課及所要ノ課ヲ置クコトヲ得

前項ノ課ノ分掌ハ所屬長官之ヲ定ム

第四條 海軍民政部ニ部長、課長、部員及附ヲ置キ所屬ノ艦隊、特設警備府、特設根據地隊又ハ海

軍特別根據地隊ノ附ヲ以テ之ニ充テ其ノ命課ハ所屬長官之ヲ行フモノトス

前項ノ外必要ニ應ジ附トシテ軍屬其ノ他ノ人員ヲ置ク

第五條 部長ハ艦隊司令長官、特設警備府司令長官、特設根據地隊司令官又ハ海軍特別根據地隊司

令官ニ隸シ部務ヲ總理ス

第六條 課長ハ部長ノ命ヲ承ケ各課ノ事務ヲ掌ル

第七條 部員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第八條 艦隊司令長官、特設警備府司令長官、特設根據地隊司令官又ハ海軍特別根據地隊司令官ハ

必要ニ應ジ海軍民政部ノ出張所ヲ置キ其ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九條 部長ハ必要ニ應ジ其ノ職權内ノ事項ヲ海軍民政部ノ出張所首席職員ニ委任スルコトヲ得此

0048

ノ場合ニ於テハ豫メ所屬長官ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

(別表一葉添)

内令

三

0049

(別表)

(昭和十七年内令第二號)

考備	海軍民政部ノ所屬、名稱、所在地及管轄區域			
	所屬	名稱	所在地	管轄區域
グアム民政部ニ課ヲ置カズ	第五根據地隊	グアム民政部	グアム島	グアム島一圓

0050

内令第三號

艦船造修規則中左ノ通改正ス

昭和十七年一月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四條中「要港部司令官」ヲ「警備府司令長官（大阪警備府司令長官ヲ除ク以下同シ）」ニ、「要港部」ヲ「警備府（大阪警備府ヲ除ク以下同シ）」ニ改メ「旅順要港部工作部長ヲ含ム以下同シ）」及「旅順要港部工作部ヲ含ム以下同シ）」ヲ削ル

第十條、第二十八條、第四十八條、第五十六條、第七十一條、第八十三條ノ三及第三號表中「要港部司令官」ヲ「警備府司令長官」ニ改ム

第四十八條、第五十六條、第六十二條、第七十六條及第八十三條中「要港部」ヲ「警備府」ニ改ム

内令

五

0051

内令第四號

海軍特別根據地隊ノ所管、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十七年一月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府

第三十二特別根據地隊

第三艦隊司令長官ノ定ムル地

ヲ

舞鶴鎮守府

第三十一特別根據地隊

マニラ

吳鎮守府

第三十二特別根據地隊

ダバオ

ニ改ム

(内令提要卷一、三八ノ五頁参照)

内令第五號

昭和十六年内令第四百六十三號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

七

0052

〔第三十二特別根據地隊職員表〕ヲ〔第三十一、第三十二特別根據地隊職員表〕ニ改ム

参照 前記内令ハ第三十二特別根據地隊職員表ヲ定ムルノ件ナリ

内令第六號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セララル

昭和十七年一月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府ノ部中「南遣艦隊」ヲ「第一南遣艦隊」ニ、「南遣艦隊司令長官」ヲ「第一南遣艦隊司令長官」ニ改ム

吳鎮守府ノ部中第二遣支艦隊及第三艦隊ノ各項ヲ左ノ如ク改ム

第三艦隊	第二遣支艦隊	第二海軍工作部	香港
	第三海軍軍需部	吳又ハ第三艦隊司令長官ノ定ムル地	
	第一百海軍燃料廠	徳山又ハ第三艦隊司令長官ノ定ムル地	

6052-2

第三南遣艦隊

第三百三海軍經理部	マニラ
第三百三海軍軍需部	マニラ
第三百三海軍工作部	マニラ
第三百三海軍病院	マニラ

附則第三項中「南遣艦隊」ヲ「第一南遣艦隊」ニ、「南遣艦隊司令長官」ヲ「第一南遣艦隊司令長官」ニ改ム

(内令提要卷一、三八ノ二九頁參照)

内令第七號

昭和十五年内令第六百四十六號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三百三海軍工作部ノ項中「南遣艦隊」ヲ「第一南遣艦隊」ニ改ム  
 第三百三海軍工作部ノ項中「第三艦隊」ヲ「第三南遣艦隊」ニ改ム

内令

九

0053



内令  
提  
登  
載

内令

(内令提要卷一、三八ノ三五頁参照)

内令第八號

昭和十六年内令第千二百二十六號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

表中横須賀鎮守府ノ項「第十七戰隊」ヲ「第三南遣艦隊」ニ改ム  
同佐世保鎮守府ノ項「南遣艦隊」ヲ「第一南遣艦隊」ニ改ム

参照 前記内令ハ戰時編制實施中艦隊等ノ司令部附特務士官以下ノ補充鎮守府ノ件ナリ

0054

内令第九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第千四百五十五號第一通信隊ノ項中  
「特務中少尉、兵曹長 附  
兵 曹、水 兵 九十三人 (掌電信兵  
特修兵適宜(暗

四人  
「特務中少尉、兵曹長 附  
兵 曹、水 兵 六十三人 (掌電信兵  
特修兵適宜(暗號)三七八) 二改ム  
二一人

昭和十七年一月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十二特別根據地隊

特務中少尉、兵曹長 附  
兵 曹、水 兵 三十人 (掌電信兵)  
(佐世保鎮守府在籍者)

参照 前記内令ハ高雄海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

一一

0055

廢止

内令第十號 昭和十七年内令第四三一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年一月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第三十一特別根據地隊

特務中少尉、兵曹長 附 二人

兵 曹、水 兵 三十人(掌電信兵)

減員

第二通信隊

特務中少尉、兵曹長 附 二人

兵 曹、水 兵 三十人(掌電信兵)

内令

一三

0056

内令第十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設工作艦浦上丸

工作部

- 兵科、機關科、造船科 大中佐 工作部長 一人
- 造機科、造兵科 大尉 工作部員 一人
- 兵科、造兵科中少佐、大尉 工作部員 一人
- 機關科、造機科中少佐、大尉 工作部員 一人
- 造船科 中少佐、大尉 工作部員 一人
- 兵科、機關科 特務士官、准士官 工作部附 二人
- 兵 曹、水 兵 十二人 (掌砲兵 普高、掌帆兵 普四)
- 機關兵 曹、機關兵 七人 (掌機兵 普高、掌電機兵 普高、鐘 高、内火 普一)

内令

一五

(内令第九號ハ後送ス)

0057

内令

二六

工作兵 曹、工作兵

四十八人

掌工兵

木具	燒換	仕上	鍛冶
普特	普特	普特	普特
高八	高四	高四	高六

鑄造	鍍金	機械
普特	普特	普特
高	高	高
一	二	四

主計兵 曹、主計兵

四人 (掌經理兵 二)

技手 工作部附 四人

(備考)

一 必要ニ應ジ工作部員タル士官ニ代フルニ技師ヲ以テ充ツルコトヲ得但シ其ノ員數ハ二人以内トス

二 技師及技手ハ他ニ本職アル者ヲ以テ充ツルモノトス

三 工作部ニハ必要ナル工具ヲ置ク

内令第十二號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十七年二月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0058

内令

漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	船名	特設艦船種別	所管
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	第一琴平丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	第五南州丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	第二パラオ丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	三輪崎丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	海昌丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	第三大洋丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	第一和丸	特設監視艇	横須賀鎮守府
漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	漁船	第二紀州丸	特設監視艇	横須賀鎮守府

38 39 36 39 39 39 39 38 38  
 " " " (7.1) " " " 11.1 海  
 44 44 44 44 " " " 4.12

一七

0059

内令第十三號

旅順警備府、旅順海軍工作部及旅順海軍病院ノ定員ニ關シ左ノ通定メラル

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

旅順警備府、旅順海軍工作部及旅順海軍病院ニハ當分ノ間定員ヲ置カズ

附則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

内令第十四號

鎮守府及警備府警備區ノ特例ニ關スル件左ノ通定メラル

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

當分ノ間關東州及關東州ノ海上ハ特ニ鎮海警備府ノ警備區トス

附則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

内令

一九

0060

内令

内令第十五號

海軍特別根據地隊ノ所管、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府

漢口方面特別根據地隊

漢口

ヲ削リ

佐世保鎮守府

青島方面特別根據地隊

青島

ヲ

横須賀鎮守府

厦門方面特別根據地隊

厦門

佐世保鎮守府

旅順方面特別根據地隊

旅順

ニ改ム

附則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要一、三八ノ五頁参照)

0061



内令第十六號

昭和十四年内令第七百十四號申左ノ通改正ス

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一項ヲ左ノ如ク改ム

香港方面特別根據地隊ノ定員ハ海軍特別根據地隊定員表別表第一ニ依ル

附則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

參照 昭和十四年内令第七百十四號ハ特別海軍根據地隊ノ定員及特務兵ノ件ナリ（内令提要卷一、四五六ノ一四ノ二ノ一頁）

内令第十七號

漢口海軍特務部規程ハ之ヲ廢止ス

（外）

昭和十四年内令一六六号

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

三二

0062

内令

三三

(内令提要卷一、二〇ノ七頁参照)

内令第十八號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設警備隊定員表其ノ三ヲ別表ノ如ク定ム

附 則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四九七頁参照)

内令第十九號

海軍特別根據地隊令中左ノ通改正セラル

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0063

第一條第二項中「支那及南洋方面」ヲ「作戦地其ノ他所要ノ地」ニ改ム  
第二條第二項中「艦隊ニ屬シ」ヲ「艦隊又ハ警備府ニ屬シ」ニ、「艦隊ノ」ヲ「艦船部隊ノ」ニ改ム  
第五條、第六條及第八條中「艦隊」ヲ削ル

附 則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三七頁参照)

内令第二十號

海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

旅順警備府ノ項ヲ削ル

附 則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

内 令

一三一

0064

(内令提要卷一、二七頁参照)

内令第三十一號

大正十二年内令第百十三號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍務局ノ部中「兵科特務士官、准士官」

一人

ヲ「兵科特務士官、准士官」

二人

ニ改ム

(舞鶴鎮守府在籍者)

(佐世保、舞鶴鎮守府在籍者各一人)

参照 前記内令ハ派遣勤務員ヲ除クベキ職及人員ノ件ナリ(内令提要卷一、四七二頁)

内令第三十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍運輸部

0065

兵科、機關科佐官 部員 兼務四人

内令第二十三號

昭和十六年内令第七百七十二號申左ノ通改正シ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

末尾ニ左ノ如ク加フ

兵 曹、水 兵

三十人

(特修兵適宜  
吳鎮守府在籍者)

参照 前記内令ハ第九根據地隊司令部ニ人員臨時付置ノ件ナリ

内令第二十四號

蒸氣ピストン主機械ノ呼稱ヲ左ノ通定ム

昭和十七年一月七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二五

0066

蒸気ピストン主機械ノ呼稱

呼稱	計量機使用蒸氣 壓力(磅)性狀	シリンダ直徑(耗)			行程(耗)	クランク軸 中心ヨリシ リンダ中央 迄ノ高さ(耗)	注油法	發停ハ ノ位置
		高壓	中壓	低壓				
一型ピストン主機械	一六飽和	二〇〇	／	四〇〇	二四〇	一、三九〇	強壓	逆
二型ピストン主機械	一六飽和	二三〇	三六〇	五八〇	三一〇	一、三八〇	自然	正
三型ピストン主機械	一六飽和	二三〇	三六〇	五八〇	四一〇	一、八〇〇	自然	逆
四型ピストン主機械	一六飽和	二九〇	四七〇	七六〇	五三〇	二、一六〇	自然	逆
五型ピストン主機械	一六飽和	二九〇	四七〇	七六〇	五三〇	二、一六〇	自然	正
六型ピストン主機械	一六飽和	四六〇	六六〇	一、〇〇〇	五七〇	二、一七〇	強壓	正
一一型ピストン主機械	一四飽和	三六〇	／	七二〇	三六〇	一、五四〇	強壓	正
一二型ピストン主機械	一六飽和	四〇〇	六四〇	一、〇〇〇	四六〇	二、〇八〇	強壓	正
一三型ピストン主機械	一六飽和	四六〇	六六〇	一、〇〇〇	四六〇	二、〇三〇	強壓	正
一四型ピストン主機械	一六飽和	五三〇	八〇〇	八六五 二個	四六〇	二、一六〇	強壓	正

0067

記

發停バンドルノ位置正トハバンドルガ腕側ヨリ見テ右廻機械ニ於テハ左側、左廻機械ニ於テハ右側ニ在ルヲ謂ヒ逆トハ其ノ反對ヲ謂フ

○正誤

⑤

昭和十六年内令第五百八十六號中「兼務一人(馬公海軍軍需部附ノ兼務)」ハ「二人(兼馬公海軍軍需部附)」ノ誤

内令

二七

0068





内令第二十五號

戰術訓練規則草案別冊ノ通改メ之ヲ試行セシム  
別冊ハ海軍省教育局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十七年一月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

附則

昭和十四年内令第四百四號ハ之ヲ廢止ス



海軍諸學校及海軍練習航空隊ニ於ケル教務作業ハ爲シ得ル限り本草案第二章第六節ノ規定ヲ準用ス  
ルモノトス

本草案試行中左ニ掲グル内令ハ其ノ實施ヲ停止ス

- 一 艦砲射撃訓練規則
- 一 魚雷發射訓練規則
- 一 航空訓練規則
- 一 艦隊運動訓練規則

内令

二九

0070

内 令

- 一 機關運轉訓練規則
- 一 通信訓練規則
- 一 應急訓練規則
- 一 工作訓練規則
- 一 機雷敷設訓練規則
- 一 爆雷投射訓練規則
- 一 防潜網設置訓練規則
- 一 掃海訓練規則

0071

内令第二十六號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十七年二月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府ノ部中「所屬ノ艦隊ハ別ニ之ヲ定ム」ヲ「第一南遣艦隊」ニ改ム

(内令提類卷二、三八ノ二九頁及昭和十六年内令第七百十九號參照)

内令第二十七號

第百一海軍軍需部ノ所管、所屬、名稱及所在地並ニ定員ニ關スル規定ノ施行期日ハ昭和十七年一月十日トス

昭和十七年一月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(昭和十六年内令第七百十九號、第七百二十一號參照)

内令

三一

0072

内令

内令第二十八號

特設海軍燃料廠令中左ノ通改正セラル

昭和十七年一月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十條中「作業部長」ヲ「部長」ニ改メ「特設」ノ下ニ「海軍」ヲ加フ

(昭和十六年内令第千三百五十六號參照)

内令第二十九號

特設海軍燃料廠處務規程中左ノ通改正ス

昭和十七年一月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第七條中「作業部長ハ」ヲ「部長ハ其ノ部ノ所掌事項ヲ管掌スルノ外」ニ、「作業部」ヲ「部」ニ改ム

(昭和十六年内令第千三百五十七號參照)

0073

内令第三十號

特設艦船部隊令中左ノ通改正セラル

昭和十七年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條第二號中「特設補充員」ノ次ニ「特設回航班」ヲ加フ

第五十七條ノ四 特設警備隊ノ職員及其ノ職務ニ付テハ海軍警備隊令ヲ準用ス

前項ノ外必要ニ應シ隊附トシテ軍屬其ノ他ノ人員ヲ置クコトヲ得

第十九章ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第二十章 特設回航班

第八十二條 特設回航班ハ之ヲ特設艦船内等ニ置キ第一回航班、第二回航班等ト呼稱ス

第八十三條 特設回航班ハ拿捕船ノ回航ニ關スルコトヲ掌ル

第八十四條 特設回航班ニ班長及班員ヲ置ク

第八十五條 班長ハ直屬上官ノ命ヲ承ケ班務ヲ統理ス

第八十六條 班長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ

内令

三三

0074

其ノ職務ヲ代理ス

第八十七條 班員ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

附 則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、四七頁参照)

内令第三十一號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

昭和十七年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設同航班定員表ヲ別表ノ如ク定ム

附 則

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(別表一葉添)

0075

(内令提要卷一、四九七頁参照)

内令第三十二號

當分ノ間特設同航班定員表別表ノ通定ム

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表一葉添)

内令第三十三號

警備戦隊令第一條ノ特例ニ關スル件申左ノ通改正セラレ

昭和十七年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「舞鶴軍港」ヲ「吳軍港及舞鶴軍港」ニ改ム

(内令提要卷一、四〇頁参照)

内令

三五

0076

内令

内令第三十四號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十七年一月十日

第三驅逐隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、六八頁参照)

海軍大臣 嶋田繁太郎

三本

0077



第四十九表

特設回航班定員表

本定員ハ當分ノ間海軍大臣之ヲ定ム

(昭和十七年内令第三十一號)

0078

(別表)

特設回航班定員表

(昭和十七年内令第三十二號)

考備	計			班		長		兵 曹 長 一
	士	官	二人	員	尉官	一	兵科佐尉官	
特修兵六掌電信兵二ノ外適宜トス	兵	下士官	准士官	機	水	機	兵	兵
	十人	八人	一人	關兵	兵	關兵曹	曹	
				四	六	四	四	

0079

内令第三十五號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十七年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船	汽船	汽船	船名	特設艦船種別	所管
天	那岐山丸	瑞祥丸	天山丸	特設運送船(雑用船)	舞鶴鎮守府
				特設運送船(雑用船)	舞鶴鎮守府
				特設防潜網艇	吳鎮守府

2175 4391 5377  
 11/222 10731 10414 5848

内令第三十六號

昭和十六年内令第千二百六十二號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

内令

三七

0080

大	佐	出仕	一人
中	佐	出仕	一人
少	佐、大尉	出仕	三人
機關	中少佐	出仕	一人
機關	少佐、機關大尉	出仕	三人
軍醫	中少佐	出仕	一人
主計	中少佐	出仕	一人
兵科特務士官、准士官		附	二人
飛行科特務士官、准士官		附	一人
整備科特務士官、准士官		附	一人
機關科特務士官、准士官		附	二人
工作科特務士官、准士官		附	一人
看護科特務士官、准士官		附	一人
主計科特務士官、准士官		附	二人

0081

**廢止**

兵	曹	七人	(掌砲兵 一、掌測的兵 一、掌帆兵 二)
整備	曹	七人	(掌整備兵 六、掌航空兵器兵 一)
機關	曹	四人	(掌機兵 二、掌電機兵 二)
工作	曹	四人	(掌工兵 三、掌木工 一)
看護	曹	一人	
主計	曹	四人	(掌經理兵 三、掌衣糧兵 一)
水兵、整備兵、機關兵		六十人	(掌砲兵 一、掌帆兵 一、掌信號兵 一、掌電信兵 二、掌整備兵 五、掌機兵 一、掌電機兵 一)
工作	兵	一人	(掌工兵 木具)
看護	兵	一人	
主計	兵	四人	(掌經理兵 二)

参照 前記内令ハ昭和十七年三月三十一日迄横須賀鎮守府(大井海軍航空隊(假稱)設立準備員)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三十七號 昭和十七年内令第五七四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

三九

0082

内令

四〇

昭和十七年二月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十七航空隊

整備兵曹、整備兵

十人(掌整備兵二)

主計兵

二人

0083



内令第三十八號

大正十二年内令第百十三號中左ノ通改正ス

昭和十七年一月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大臣官房ノ部中

特務士官 一人

特務士官、准士官 三人

ニ改ム

参照 前記内令ハ派遣勤務員ヲ除クヘキ總及人員メ件ナリ(内令提要卷一、四七二頁)

内令第三十九號

昭和十七年内令第七二六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年一月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府(佐世保鎮守府文庫高雄出張所職員ニ充ツベキモノ)

兵科特務士官、准士官 附 一人

書記 附 二人

内令

四一

(内令 自第三十五號 至第三十七號 後送ス)

0084

内令

四二

技 手 附 一人

内令第四十號

昭和十六年内令第千三百七十五號高雄海軍通信隊ノ部中「十人(掌電信兵)」ヲ削ル

同年内令第千三百七十六號中水兵ノ下「四十三人」ヲ「二十九人」ニ、主計兵ノ下「四人」ヲ「一人」ニ改メ機關兵ノ下「七人」ヲ削ル

同年内令第千四百十三號中「三十人(掌電信兵(特修兵適宜(暗號)「二六」)」ヲ「四十五人(掌電信兵(特修兵適宜(暗號)「二六」)」ニ改メ

昭和十七年一月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十六年内令第千三百七十五號ハ佐世保海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件

参照 同年内令第千三百七十六號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時減員ノ件

同年内令第千四百十三號(同年内令第千五百四十六號改)ハ第八十一通信隊ニ人員臨時増置ノ件

内令第四十一號

昭和十六年内令第千四百七號ハ之ヲ廢止ス

0085



昭和十七年一月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

參照 廢止内令ハ聯合艦隊司令部（徵用船隻光九聯合艦隊配屬中之ガ業務ニ充ツルモノ）ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令第四十二號

海軍特別根據地隊職員表別表ノ通定ム

昭和十三年内令第三百七十三號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ昭和十七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年一月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

（別表一葉添）

參照 昭和十二年内令第三百七十三號ハ旅順防備隊職員表ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、四五六ノ一四ノ三五頁）

○正誤

⊗

昭和十六年内令第七百六十一號中「昭和十四年内令第七百九十號」ハ「昭和十四年内令第七百九

内令

四三

0086

十二號ノ誤

内令

四四

0087

(別表)

海軍特別根據地隊職員表

(昭和十七年内令第四十二號)

考 備	計		附		隊		分隊長		主計長		軍醫長		機關長		參謀		副長		司令官		旅順方面	旅順方面		
	特務士官	士官	特務中少尉	機關特務中少尉	主計特務中少尉	軍醫中少尉	機關少佐、機關大尉	少佐、大尉	主計科佐尉官	軍醫科佐尉官	機關少佐、機關大尉	少佐、大尉	主計科佐尉官	軍醫科佐尉官	機關中少佐	中少佐	大佐	中佐	大佐	中佐			中少將	
	五人	十六人 内特務六人	一	二	二	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			一	一
兵	下士官	准士官	主計兵	看護兵	工兵	機關兵	水兵	主計兵	看護兵	工兵	機關兵	兵	看護兵	工兵	兵	看護兵	工兵	兵	看護兵	工兵	兵	曹長	曹長	曹長
百六十一人	六十八人	三人	十二	五	六	二十三	百十五	四	二	三	十一	四十八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得  
 二 本表ノ外隊附トシテ書記三人及技手一人並ニ雇員、傭人、工員及人夫ヲ通シ二百二十五人  
 以內ヲ置クコトヲ得  
 三 掌機雷兵(機雷)七、掌電信兵二〇及兵科特修兵適宜(暗號)三ノ外特修兵ハ適宜トス

内令第四十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年一月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四艦隊司令部

高等文官 附 二人

判任文官 附 一人

内令第四十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年一月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五根據地隊司令部

高等文官 附 二人

判任文官 附 一人

内令

四五

0089



内令

四六

内令第四十五號

昭和十七年三月三十一日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年一月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二海軍航空廠

整備 備 兵 曹 一人

第六十一海軍航空廠

整備科特務士官、准士官 附 一人

飛行 兵 曹 二人(掌飛行兵(偵))

整備 備 兵 曹 二人

内令第四十六號

昭和十七年内令第二八二號  
一ヲ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十七年一月三日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年内令第千二百三號ハ昭和十六年十二月三十一日限り之ヲ廢止ス



0090

昭和十七年一月十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十一特別根據地隊

- 兵 科 尉 官 附 一人
- 整備科特務士官、准士官 附 一人
- 飛行兵曹、飛行兵 五人 (掌飛行兵 (偵探) 三)
- 整備兵曹、整備兵 二十四人 (掌整備兵 (掌航空兵器兵 (射爆) 二) 八)
- 看護兵曹、看護兵 一人
- 主計兵曹、主計兵 二人
- 第十一特別根據地隊
- 兵 科 尉 官 附 一人
- 飛行兵曹、飛行兵 八人 (掌飛行兵 (偵探) 三)
- 整備兵曹、整備兵 二十七人 (掌整備兵 (掌航空兵器兵 (射爆) 一) 八)
- 看護兵曹、看護兵 一人

内令

四七

0091

内令

主計兵曹、主計兵

二人

参照 廢止内令ハ軍艦加賀等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

四八

0092

内令第四十七號

補助機械（造機關係）呼稱附與標準左ノ通定ム

昭和十七年一月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

補助機械（造機關係）ノ呼稱ハ其ノ機能及力量ヲ表示スル主語並ニ其ノ機構、性能等ヲ表示スル補助語ニ依リ之ヲ附與スルモノトシ主語及補助語並ニ其ノ配列順序ヲ次ノ通トス

配列順序	呼稱附與要領
一	<p>原動機ノ種類ヲ示スモノトシ蒸氣原動機中「タービン」ハ「タービン」、「交電、直電」、「ヂーゼル」、「ガソリン」等</p> <p>動機ハ交電、直流電動機ハ直電、内火原動機中「ヂーゼル」機械ハ「ヂーゼル」、「ガソリン」機械ハ「ガソリン」等ト附與ス</p>
二	<p>概ネ左記各號ニ依リ號ヲ附與ス</p> <p>一 蒸氣及電動原動機ノモノニ對シテハ二桁ノ數字ヲ冠スル號ヲ附與スルモノトシ其ノ中ノ十位ノ數字ハ蒸氣原動機ノ確使用蒸氣壓力及溫度並ニ電動原動機ノ電壓ニ關聯（別表附與要</p>

内令

四九

0093



	三	四	五
	(主語)	堅、横、斜等	型
<p>領(ニ依ル)セシメ一位ノ數字ハ原動機ノ其ノ他ノ機構、性能及被動機ノ機構、性能等ニ關聯セシム</p> <p>二 内火原動機ノモノニ對シテハ原動機及被動機ノ機構、性能等ニ關聯セシメ一ヨリ九迄ノ數字ヲ冠スル號ヲ附與ス</p>	<p>「ポンプ」或ハ空氣機械等ニ在リテハ被動機總壓力及容量(總壓力ノ種類單一ノモノニ在リテハ容量ノミ)熱交換器ニ在リテハ被加熱或ハ被冷却流體ノ出入口溫度差及容量(出入口溫度差ノ種類單一ノモノニ在リテハ容量ノミ)其ノ他ニ在リテハ之等ニ相當スルモノニ關聯スル五桁以内ノ數字ヲ補助機械ノ機能ヲ表示スル名稱ニ冠ス</p>	<p>堅置及倒立ハ堅、横置及懸垂ハ横、斜立ハ斜等ト附與ス</p>	<p>取附寸法及附着品位置等ノ裝備狀況ニ依リ型ヲ附與ス但シ對稱ノモノハ之ヲ區別セズ</p>

(別表一葉添)

0094

(別表)

蒸氣及電動原動機ノモノノ號ノ十位數字附與要領

(昭和十七年内令第四十七號)

原動機種類					罐使用蒸氣		號ノ十位數字
タ ス ト ン 機 械 及					壓力(噸)	溫度(度)	
五〇	四〇	三〇	二五	二〇	一六	飽和	九
四五〇	四〇〇	三五〇	三二五	三〇〇	飽和	飽和	〇
五	四	三	二	一	電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機	三
					電	機	四
					電	機	五
					電	機	六
					電	機	七
					電	機	八
					電	機	九
					電	機	〇
					電	機	一
					電	機	二
					電	機</	